

◇ 教員免許更新講習シラバス(選択領域分)

講座内容についての問い合わせ先…koushin@nara-edu.ac.jp(奈良教育大学)

| 講座名 | | 主な受講対象者 | 時間 | 講習形態 |
|--|--|--------------------------------------|------|--------------|
| 地理・歴史教育と地理学・歴史学研究 | | 中学校社会・高等学校地理歴史教諭 | 6H | 講義・演習 |
| 日程 | 定員 | 講師名(所属・職名等) | | |
| 平成29年8月25日(金) | 30人 | 今 正秀(奈良教育大学・教授) 河本 大地(奈良教育大学・准教授) | | |
| 会場 | | | | |
| 奈良教育大学 | | | | |
| 【講座の概要】 | | | | |
| 地理教育も歴史教育も地理学研究、歴史学研究の成果に依拠している。けれども地理教育、歴史教育は固有のアイデンティティを持っている。今回、地理学研究と歴史研究の成果を生かした地理学習の在り方と、世界史学習の在り方への提案を行いたい。日本史では、荘園制を切り口にして、日本における古代から中世への転換・移行をどう描くかというもので、地理では「奈良県南部を活かすグローバル地域学習」について示したい。 | | | | |
| 【小テーマ①】 荘園とは何か I | | | 1.5H | (担当講師:今 正秀) |
| 講習形態 | 講義形式 | | | |
| 講習内容 | 日本史の中でも難解とされる荘園制について、初期荘園から中世的荘園制の成立までについて講じる。 | | | |
| 到達目標・確認指標 | 荘園制の成立について理解できる。 | | | |
| キーワード | 初期荘園、墾田永年私財法 | | | |
| 【小テーマ②】 荘園制とは何か II | | | 1.5H | (担当講師:今 正秀) |
| 講習形態 | 講義形式 | | | |
| 講習内容 | 日本史の中でも難解とされる荘園制について、初期荘園から中世的荘園制の成立までについて講じる。 | | | |
| 到達目標・確認指標 | 荘園制の成立について理解できる。 | | | |
| キーワード | 荘園整理令、中世的荘園制または荘園公領制 | | | |
| 【小テーマ③】 奈良県南部を活かすグローバル地域学習 I | | | 1.5H | (担当講師:河本 大地) |
| 講習形態 | 講義形式・演習形式 | | | |
| 講習内容 | 高校段階の「地理総合」(仮称)必修化を意識しつつ、奈良県民でも地域理解が不十分なことの多い県南部の地理的特徴や価値についてESDの観点から講じる。その際、地理院地図などウェブ上のGISの活用可能性をあわせて提示する。 | | | |
| 到達目標・確認指標 | 奈良県南部の地理的特徴や価値を理解し、それを活かした授業を構成できる。 | | | |
| キーワード | 地理教育、ESD(持続可能な開発のための教育)、地域多様性、山村、グローバル、他者理解、GIS(地理情報システム) | | | |
| 【小テーマ④】 奈良県南部を活かすグローバル地域学習 II | | | 1.5H | (担当講師:河本 大地) |
| 講習形態 | 講義形式・演習形式 | | | |
| 講習内容 | 高校段階の「地理総合」(仮称)必修化を意識しつつ、奈良県民でも地域理解が不十分なことの多い県南部の地理的特徴や価値についてESDの観点から講じる。その際、地理院地図などウェブ上のGISの活用可能性をあわせて提示する。 | | | |
| 到達目標・確認指標 | 奈良県南部の地理的特徴や価値を理解し、それを活かした授業を構成できる。 | | | |
| キーワード | 地理教育、ESD(持続可能な開発のための教育)、地域多様性、山村、グローバル、他者理解、GIS(地理情報システム) | | | |
| 試験方法 | 小テーマ①と②に関しては、②の授業の最後に筆記試験を行い、小テーマ③と④に関しては、④の授業の最後に筆記試験を行う。 | | | |
| 成績評価の方法・基準等 | ①と②、③と④のテーマについてそれぞれ配点50点。総合点で60点以上を合格とする。 | | | |